

幸せの記念に

オリジナル 婚姻・出生届

松山市は公募したデザインから選んだ婚姻届と出生届を4種類ずつ作製し、20日、配布を始めた。いずれもA3判、カラーで、坊っちゃん列車や伝統工芸品の姫だるま、松山城、市の花・ツバキなどを描いたかわいらしい図柄。市のホームページから印刷して使うことができる。

結婚や出生に関心を持ってもらい、少子化対策につなげようと、市が県内の自治体で初めて公募した。婚姻届には109点、出生届には98点の応募があり、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞3点を選んだ。

最優秀賞は、婚姻届が河原デザインアート専門学校2年・重松摩里さん(20)、出生届が同・檜垣歩里さん(20)の作品。市役

所でこの日、優秀賞の受賞者とともに表彰された。

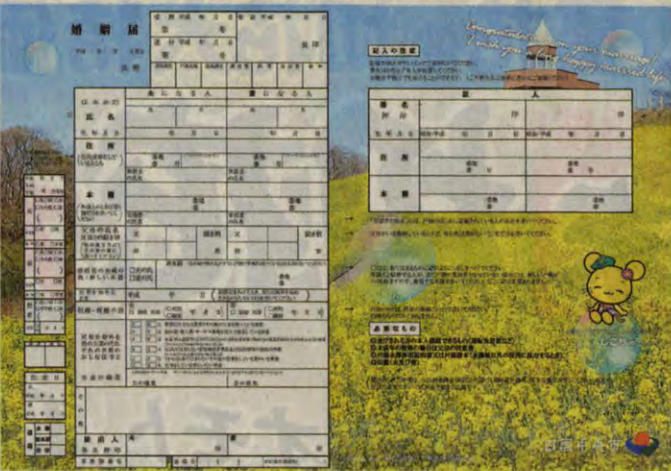
坊っちゃん列車に乗ったカップルを描いた重松さんは「多くの人に使ってもらえると思うとうれしい。温かみのある色を使い、幸せな家庭を築くための出発をイメージした」と話した。

姫だるまや、湯をかけて願い事をするとかなうという道後温泉の「玉の石」をコンピュータソフトで図柄にした檜垣さんは「松山らしい和風のデザインにした」と喜んだ。

最優秀賞の届け出書は、市役所窓口でも配る。従来の無地のものも併用する。届け出後は返却しないが、市は最優秀賞と同じデザインの記念証(A5判)を発行する。



デザインが最優秀賞に選ばれた重松さん(左)の婚姻届と檜垣さんの出生届(松山市役所で)



四国中央市 観光名所で彩り

四国中央市は、市内の観光スポットの写真や市のマスコットキャラクター「しこちゅ〜」のイラストを刷り込んだオリジナルの婚姻届と出生届を作製した。市民窓口センターの職員らが7月から「届け出をする人

緑色の用紙に「しこちゅ〜」の3種類。出生届は①土居町野田のひまわり畑②黄色の用紙に笑顔の「しこちゅ〜」の2種類。いずれも市のホームページでダウンロードし、A3判の紙に印刷する。住所や氏名、本籍地などの記入枠は全国共通の書式になっており、市以外でも届け出に使えるという。市民窓口センターは「郷里を離れて暮らすカップルにも使ってもらいたい。地元愛が強まり、Uターンしてくればうれしい」としている。

婚姻届は①NPO法人・地域活性化支援センターの「恋人の聖地」に選ばれた「具定展望台」からの夜景②翠波高原の菜の花③淡い

「具定展望台」からの夜景②翠波高原の菜の花③淡い